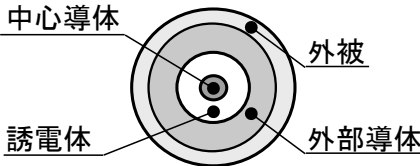


適 用 規 格						
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (90%RH以下) 注1	保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (90%RH以下) 注1		
	使用ケーブル	下記参照(参考)		特性インピーダンス	75 Ω (0 ～ 12 GHz)	
	仕上径 : φ5.5 mm同軸ケーブル(参考) 外 被 : φ5.5 mm 外部導体: 編組 誘電体 : φ3.4 mm 中心導体: (1/0.75), 裸軟銅線					
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT	
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○ ○	
	表示	目視にて確認する。			— —	
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。		中心コンタクト 8 mΩ 以下	○ ○	
				外部コンタクト 8 mΩ 以下	○ ○	
	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ 以上	○ ○	
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)		せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○ ○	
	電 圧 定 在 波 比 (反射損失)	周波数 0 ～ 3 GHzにて測定する。		VSWR 1.29 以下 (18 dB 以上)	○ —	
		周波数 3 ～ 12 GHzにて測定する。		VSWR 1.43 以下 (15 dB 以上)	○ —	
機 械 的 性 能	挿 入 損 失	周波数 — ～ — GHzにて測定する。		— dB以下	— —	
	単 体 挿 抜 力	φ — の鋼製ピンで測定する。		挿入力 — N以下	— —	
				引抜力 — N以上	— —	
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。		挿入力 — N以下	— —	
				引抜力 — N以上	— —	
	繰 り 返 し 動 作	5000 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○ —	
	耐 振 性	周波数 10 ～ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○ —	
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。			○ —	
ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	30mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。		最大荷重 49 N以上	○ —		
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐 湿 性	温度 +25 ～ +65℃, 湿度 90 ～ 96 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。		① 縁抵抗: 100 MΩ 以上 (高湿時) ② 縁抵抗: 1000 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○ —	
	温 度 サ イ ク ル	温度 -40 → — → +85 → —℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。		破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○ —	
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		VSWR 1.29 以下 (周波数 0 ～ 3 GHz) VSWR 1.43 以下 (周波数 3 ～ 12 GHz)	○ —	
△	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
0						
備考 注1. ケーブルを含まないコネクタ単体規格。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。				承 認	KY. SHIMIZU	20190201
				検 図	KY. SHIMIZU	20190201
				担 当	RO. YOKOYAMA	20190201
				製 図	RO. YOKOYAMA	20190201
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図 番	SLC-382287-00-01		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	BNC (75) -P-3. 3C-12G		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL302-0092-0-00		
						△ 1/1